

同志社大学

2009年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2010年 3月 4日提出

所 属	職 名	氏 名
総合政策科学 研究科	教授	井上 恒男
研 究 題 目	地域ケアネットワークの構築に関する研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>1 高齢者長期ケア施設におけるケアのあり方 高齢者長期ケア施設における介護職員による医療類似行為のあり方を検討するため国内の特別養護老人ホームで医療・介護連携モデル事業が始まった。日本版ナーシングホームのあり方を検討する素材として、モデル事業施設の取材、文献収集等を行った。 英国のナーシングホームについては、annotated bibliography を入手し、文献情報に基づいて現状、課題等を整理している途上である（3か年計画で文部科学省科研費に申請中）。 折から英国ではグリーンペーパーが発表され、介護費用負担方式の抜本的見直しの検討が始まったので、その動向を「英国の介護費用負担方式をめぐる議論」と題して発表する（週刊社会保障 No.2558、2009年12月7日）とともに、厚生労働省老健局内勉強会に報告した。</p> <p>2 もの忘れ外来・地域ケア連携パイロット事業 京大付属病院もの忘れ外来の専門医が地域のかかりつけ医・ケアマネジャーを訪問して地域連携カンファレンスを実施することにより、在宅の認知症患者さんのケアに携わる福祉・医療専門職の連携の現状、課題等を明らかにするため、パイロット事業を行った（厚生労働省老人保健推進事業費補助事業による本学受託研究事業の一環）。</p> <p>3 医療的ケアが必要な在宅高齢者のための地域ケアネットワーク構築 病院から安心して在宅ケアに移行することを可能にする地域ケアネットワークのあり方を検討するため、京都府乙訓地域において、要介護高齢者等の入退院の広域的な移動、ケアマネジャーと医療機関の連携等の実態を地元関係団体の協力を得て実施した（ニッセイ基礎財団からの委託研究事業の一環）。</p>	